

イリノイ大学の Fall semester における講義が 8 月 25 日から始まった。それから約一ヶ月が過ぎ、履修の選択期間も終了し、授業が本格化してきた。今回の報告書では主に現在履修している科目とその内容について報告する。

今学期の履修科目

今学期,履修している科目は以下の 4 科目である.これらすべてが 3 hour credits であるから,合計 12 hour credits ということになる。

< 秋学期の履修科目 >

- ・ ESL110: English pronunciation for academic purposes
- ・ ESL113: English structure and paragraph development for under graduates students
- ・ AE311: Incompressible Flow
- ・ AE321: Aero Structures

ETP と ESL 科目

イリノイ大学では、TOEFL スコアが 610(paper-and-pencil TOEFL)もしくは 253(computer-based TOEFL)を満たさない学生に対して EPT(ESL Placement Test)が実施される。このテストでは個々の Writing skill と Oral skill のレベルが測れ、その結果を元に ESL(English Second Language)科目の履修が推奨か必修かが知らされる。またそれは各学科のアドバイザーと履修申請について相談する際の判断材料にもなる。私はアドバイザーと相談の結果、ESL110 と ESL113、AE311、AE321 をそれぞれ受講することとなった。

ESL110:

ESL110 は、英語の発音能力を高めるための科目である。EPT の結果、推奨であったため履修した。授業では、英語の rhythm や intonation について学習している。それ以外にもこの科目では、担当教員のオフィスに行き、教員との一対一での発音練習が組まれており、そこで学生は個々の弱点を補うわけである。

ESL113:

ESL113 は、英語の writing 能力を高めるための科目である。EPT の結果、推奨であったため履修した。授業内容は与えられたテーマを元に Short essay を書き、クラスメート同士、訂正するというもの。教員は文章構成やその流れについては修正や評価をしてくれるのだが、文法や単語の用法までは修正をしてくれない。そのため、この科目の課題に関しては幾分苦労しているのが現状である。しかし、最近心強い味方もできた。Writers Workshop というものが学内の各 Library に設置され、そこでは Writing assignments や論文に対して添削や助言を与えてくれる。

AE311:

AE311 は非圧縮性空気力学について学ぶ科目である。週3回の Lecture と週1回の Discussion が組まれている。Lecture では講義を行い、Discussion では出された宿題で分からない或いは分かりにくい問題について補足する。言わば office hour の延長である。他の科目で office hour が使えない学生にとって非常にいい制度である。

イリノイ大学では非常に多くの留学生を受け入れており、特に授業に関しては受講者の半数が留学生で占められることも稀ではない。しかし、Aerospace Engineering の場合、受講者 90 人のうち留学生というのは私を含め数人がいる程度であるが、ほとんどが Native American である。彼らから勉強会などに誘われることがよくあるのだが、今までに受講したことのない学科の科目ともあって、如何せん専門的な英語力が不足していて、皆の足手まといになっているのが現状であった。それ故に勉強会が開かれるまでに宿題を終わらしてから参加することで何とか切り抜けている。彼らともいい関係を築くためにも、この学科の科目には特に力を注いで頑張っていきたい。

AE321:

AE321 は連続弾性体について学ぶ科目である。この科目は UIUC の Aerospace Engineering の中でも難しい科目のひとつであるらしい。だが、講義を行う教授が Boeing 社に勤めていたこともあり、貴重な話や体験談を聞くことができると思いこの科目を受講した。講義の形式は AE311 と同じく、週3回の Lecture と週1回の Discussion が組まれている。また、教授は剛体モデルを linearly potato と称して授業にジャガイモを持ってき

て講義を進めるが、これが実に面白い。

この科目も今までに受講したことがない科目であるため、AE311 同様苦労している。テストにおいても、授業で紹介された例題よりも更に難しい問題が提示され、また常に初めて見る英単語が出てくるため、問題の正確な意味を得ることができないために、間違った解答を書いてしまうことがあり悪戦苦闘している。

DBF(Design Build Fly)の参加

DBF とは AIAA が主催する Cessna/ONR Student Design/Build/Fly Competition のことで学生に実際の航空機設計経験を与えることを目的としている。具体的にはラジコン飛行機を設計、製作し競技に出場するというものである。ラジコン飛行機といっても、翼幅が 3m もある非常に大きな模型飛行機である。私は KIT で人力飛行機プロジェクトのチームに所属していたこともあって、以前からこの Competition に興味を持っていた。ある日、AE311 での勉強会で私が過去に KIT の人力飛行機プロジェクトに参加していたことについて話すと、そのメンバーから DBF に参加してくれないかという誘いを受けた。願ってもないことだったので二つ返事で承諾した。DBF ではメンバー 1 人に対し 1 つの Task が与えられ、その成果を元に競技に出場するための飛行機を設計・製作する。メンバー一人一人が非常に高い技能を保有していて、改めてイリノイ大学工学部のレベルの高さを知った。私の Task についてはチームリーダーの Geoff と相談中でまだ決まっていないが、今後が非常に楽しみである。

その他

授業内容もより難しいものになり、そのための予習と復習それと宿題に時間を費やす毎日によく眠れない日々が続いている。しかも、最近になって気温の変化が激しくなり、夜間の最低気温が 4 なのに対して、昼間は 24 にもなり気温差が 20 度もあり、非常に風邪を引きやすい状況にある。この留学の有意義を高めるためにも、体調に気をつけ、気を引き締めて今後がんばっていく。